

東野さんの 職場をのぞき見



患児に負担をかけない様に素早く、でも正確に状態を確認します。患児や家族に「忙しいから申し訳ない」と感じさせないように話しかけやすい雰囲気作りをしています。



先輩には気兼ねなくなんでも相談できます。知識、技術面の進捗状況などを一緒に確認しながら日々の業務を行うので一貫性のある指導を受けられます。



Hospital Data

東京女子医科大学 附属八千代医療センター

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田 477-96
TEL 047-450-6000
URL <https://www.twmu.ac.jp/TYMC/>

Hospital Information

東京女子医科大学附属病院として2006年に開院。千葉県に3つしかない総合周産期母子医療センターの一つを担い、NICU/GCUの他、千葉県初の小児救命救急センター指定を受けてPICUを備え、独立した小児病棟を設置。千葉県の周産期から小児期までの医療・看護を提供する高度急性期病院としての役割を果たしています。
※病院見学などの情報は、病院ホームページをご確認ください。



今後はさらに知識を身に付けていきたいです。今は様々な病態の学習と一般的な治療、薬剤などの学習が必要だと感じています。今年は昨年よりも余裕を持ち、もっと視野を広げられるように努力したいと思っています。

を支援しながら安心安全の看護を提供しています。
入職してすぐの頃、食後の内服を拒否する患児の対応に困っていたとき、私は飲ませることに必死になっていたのですが、患児の訴えを傾聴し不安が和らぐように声を掛けている先輩の姿を見て、「コミュニケーションの重要性を学びました。慣れない入院生活や治療への不安を持つ患児やご家族に寄り添い、少しでも安心して治療が受けられるように関

わること心かげるようになりまし
た。
1年目は、自分の知識不足を重く受け止め悩むこともありましたが、プリセプターの先輩をはじめ病棟のスタッフ皆さんに支えられました。1日の看護業務と一緒に振り返りアドバイスをいただき、私が辛い時には励ましの言葉をかけてくださるので、前向きな気持ちで自己研鑽を重ねることができました。失敗することもありましたが、起きたことを責

めるのではなく、理由や解決策をしっかりと教えてくださるおかげで成長できたと実感しています。
**信頼関係を大切に
知識や視野を広げて成長したい**
2年目の今、自信を持って行える看護技術も増え、患者さんのケアのために必要な報告・連絡・相談も的確に行えるようになりました。最近、患児やご家族から「あなたが担当でよかった」と言われるうれしい出来

事もありました。私の看護観として大事にしていることは、どんな場面でも患者さんが話かけやすい雰囲気をつくること。口頃から笑顔で接し、信頼関係を確立させ、安心安全な看護を提供したいと考えています。そのためにも、素早い判断と決断をすることも大切なので、少しでも疑問があれば、先輩に相談して対応力を磨いています。

先輩の親身なアドバイスに支えられて

患者さんだけでなく家族にも寄り添う

安心・安全な看護を目指す

東京女子医科大学 附属八千代医療センター

千葉県における小児周産期医療を担う拠点病院であり、地域の急性期医療を一手に担う東京女子医科大学 附属八千代医療センター。緊急で入院する子どもも多い小児入院病棟で患児のケアに奮闘する東野さんに1年間を振り返ってもらいました。



Profile

東野 綾佳璃 さん

4階東病棟勤務
秀明大学 看護学部看護学科 2023年卒業

安心の教育体制

プリセプター制度で 新人看護師でも安心して成長できる

プリセプター制度があり、技術面の進捗状況などを一緒に確認しながら日々の業務を行うので一貫性のある指導を受けることができます。コミュニケーションを取りながら振り返りを行うことで日々解決し、学びに繋がります。

声かけや話しやすい雰囲気 細やかなサポート体制が充実

精神的なサポートや多岐にわたる看護業務など細やかな部分までサポートがあり、プリセプター以外の先輩もフォローしてくれたり気にかけてくれます。医師や病棟保育士とも協働することで安心・安全な小児看護を提供できます。

精神的なケアもできる 看護師を目指す

看護師を目指したきっかけは、幼い頃に行った病院で、心配が尽きない私に対して親身になって寄り添ってくれた看護師さんの姿に感銘を受けたからです。身体的なケアとともに精神的ケアも提供できるそんな看護師になりたいと思いました。
また、学生時代の看護実習で献身的な看護を目の当たりにして「自分

も誰かの役に立ちたい」と感じたとでさらに自分のなりたい看護師像をイメージすることができました。その看護実習でお世話になったのが、東京女子医科大学 附属八千代医療センターでした。患者さんの個性に合わせた看護の実践など、教科書では得ることができない知識を熱心に教えてくださり、看護実習中に患者さんとかかわりにつまずいてしまった際も、親身になって相談に乗ってくださいました。この経験から、教育環境が整っている当院に従事し、患者さん一人ひとりに対して「一人の心の温かさを大切にする看護」を実践したいと感じるようになりました。

頑張る力をくれたのは 先輩方の励ましと丁寧な指導

私は、小児外科・形成外科・小児科などの主に0歳〜15歳までの子どもを対象にした病棟に勤務しています。地域の病院と連携し、やちよ夜間小児急病センターを365日開設しているため、緊急入院する子どもも多くいます。主な仕事は手術や検査入院、医療的ケア児の在宅医療支援など。医師や病棟保育士などの多職種とも連携し、子どもの成長発達